

栃木の未来の森林へ

金澤

和久人

ぼくたちが住んでいる栃木県の約半分は、森林でできている。森林がたくさんあるから、たくさんのお動物が住んでいると思っただ。

日本の森林の問題は、人間が手入れをせよにほったりかしたることだ。人工林を使いなく、自然のまじい伸び、地面に光が当たり、動物たちが移動してしまふ。また、いろいろな理由で森林をこわしてしまふ。動物の住みかかなく、こまう。そのため、動物たちが

が山から下りてきて、人間の食べ物としたり、あそびたりして、人間も動物もこまう。このため、人間と動物が共に元気に暮らせるように、森林を守りたい。

森林を再生するには、人間が手入れをする。こまう、そして手入れをする人を増やして、いかに大切だと思ふ。勝手に森を変えておろす力を、一人一人が意識するようになって、心が大切だと思ふ。